

国際公会計学会
第26回 全国大会
千葉商科大学

参加費・懇親会費の お支払いのご案内

本大会に参加される方は、7月14日(月)までに
下記の申込フォーム(右のQRコードからアクセスできます)
よりお申し込みいただくとともに、同封の払込取扱票に
所定の事項をご記入のうえお振り込みください。なお誠に
恐れ入りますが、お振込手数料はご負担くださいますよう
よろしくお願い申し上げます。



申込フォーム <https://forms.gle/ohvW7himvpT3eMjr9>

本大会・懇親会お弁当の手配は、お振込みをもって確認させていただきます。参加費・懇親会費の領収書につきましては、「郵便振替払込受領証」をもって代えさせていただきます。当日は念のため「郵便振替払込受領証」をご持参ください。なお、お振込みいただいた金額の払戻しはいたしませんので、ご了承ください。

日曜日は、ユニバーシティダイニング(UC=学内の食堂)の営業がありません。お弁当を手配しますので、ご希望の方は参加申込の際にご予約ください。[お弁当:1,500円]

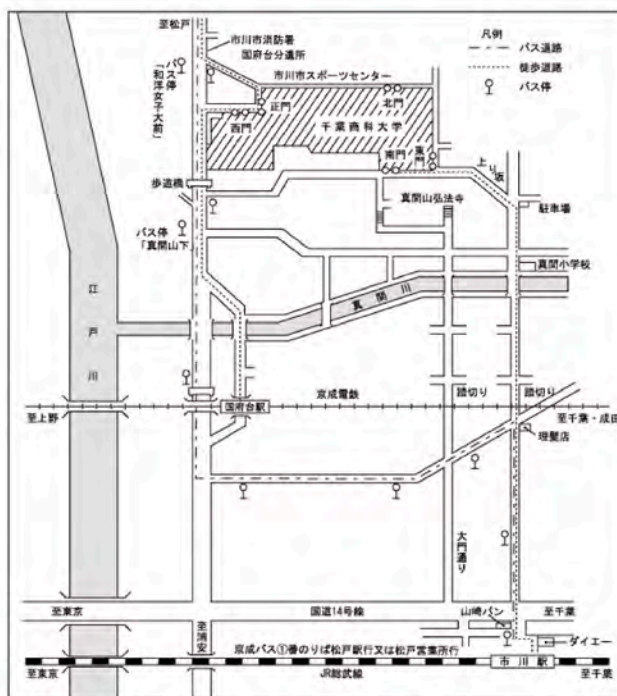
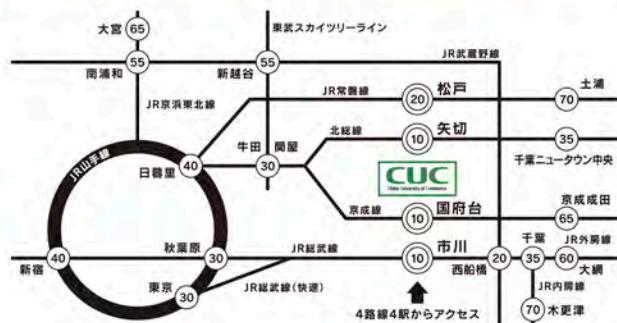


過去の江戸川花火大会から

※ゆうちょ銀行以外からお振り込みの際は、下記宛にお願いします。

銀行名: ゆうちょ銀行
店名: ○一九店
預金種類: 当座
口座番号: 0599884
口座名義: 吉田 寛

対面参加費 6,000円(会員・非会員とも)
オンライン参加 3,000円(会員・非会員とも)
懇親会費 6,000円



● 懇親会のお楽しみ

全国大会の初日は、市川市と江戸川区が共催する江戸川花火大会が予定されています。懇親会場は、江戸川両岸から打上げられる花火を一望できます。

● CPE単位認定のご案内

本大会に参加される日本公認会計士協会会員の方は、CPE単位を申請します。ご参加の際に所定の手続をお済ませください。

● 会場までのアクセス

JR総武線 市川駅から

徒歩約20分
バス利用の場合は、駅前京成バス1番乗り場から
松戸駅行 または 松戸営業所行に乗車 約10分
和洋女子大前 下車 徒歩3分

京成線 国府台駅から 徒歩約10分

北総線 矢切駅から

徒歩約20分
バス利用の場合は、駅前京成バス乗り場から
市川駅行に乗車 約10分 和洋女子大前 下車 徒歩3分

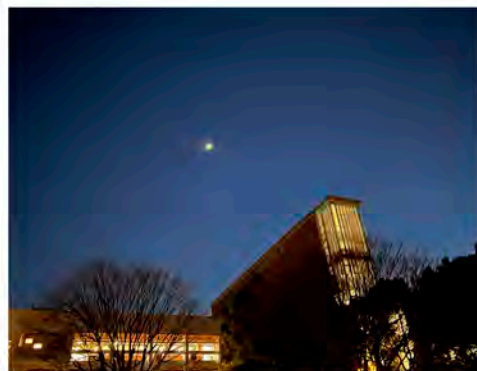
JR常磐線 松戸駅から

京成バス3番乗り場から 市川方面行 乗車約20分、
和洋女子大前 下車 徒歩3分

● オンライン参加について

オンライン参加には ZOOM を利用します。ZOOMの招待メールは、申込フォームで登録されたメールアドレスに
8月4日までに 送信いたします。

大会会場へのお車でのご来場はご遠慮ください



国際公会計学会 第26回 全国大会

2023.8.5 土 SAT - 8.6 日 SUN

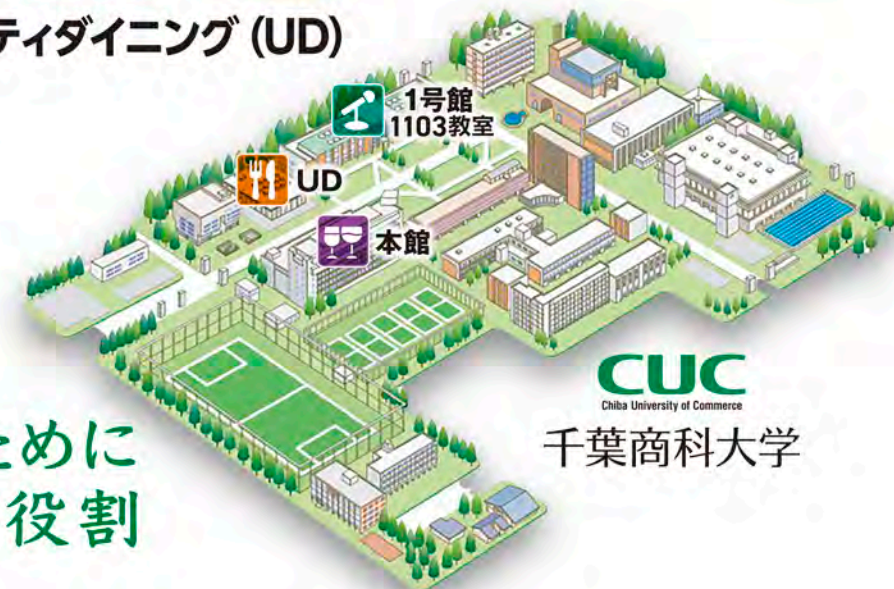
千葉商科大学

ハイブリッド
開催

大会会場 / 1号館 1F 1103教室

8月5日昼食 / ユニバーシティダイニング (UD)

懇親会会場 / 本館 7F



統一論題

市民の意思決定のために 公会計が果すべき役割

ご挨拶

本大会の統一論題は「市民の意思決定のために公会計が果すべき役割」といたしました。企業会計は、株主と交わした「利益を獲得する」という約束を守る者を見いだすことで、資本を能力のある者に委ねることを可能にしました。公会計の領域においても、首長が市民に与えた影響を明らかにすることで、提供すべき会計情報は明らかになります。今回の統一論題の報告者は、研究者だけでなく首長や議員の方々にもお願いしました。会計情報の利用者の声を聞くことで、今後の公会計制度の発展につながることを期待しております。

大会実行委員長 吉田 寛

大会事務局 〒272-8512千葉県市川市国府台1-3-1 千葉商科大学 L-413 吉田 寛

freedom@cuc.ac.jp

※記載のお名前はすべて 敬称略

1日目 Day 1 5 SAT

10:00	受付開始	
10:30	開会挨拶	10:45
10:45	自由論題報告	12:00
10:45	報告①	11:30
11:30	報告②	12:15
12:15	報告③	13:00
13:00	昼食・理事会	14:00
14:00	会員総会	15:00
15:00	統一論題報告	
15:00	近藤憲治	15:30
15:30	中野雄太	16:00
16:00	山本ひろこ	16:30
16:30	基調講演	17:45
18:00	懇親会	20:00
19:50	中 締	
	懇親会終了	20:00

自由論題報告 10:45~

寺嶋 康二 | 千葉商科大学大学院 専任講師

報告① 10:45~ 水田 健輔 | 大学改革支援・学位授与機構 研究開発部
**国立大学法人の財務状況の推移
—法人特性別にみた貸借対照表の経年分析—**

報告② 11:30~ 本間 博 | 学校法人 天使学園
学校法人会計基準の課題と改善に向けての提案

報告③ 12:15~ 五月女 容子 | 金沢学院大学大学院
企業会計と公会計の議論と今後の展望

1日目の昼食はユニバーシティダイニング (UD) をご利用ください

理事会 13:00~ は 1212教室 です

※2日目 (6日) はユニバーシティダイニング (UD) の営業がありませんので、
昼食 (お弁当 1,500円) を用意いたします。お申し込みフォームから予めご予約
ください。詳しくは裏面「参加費・懇親会費のお支払いのご案内」をご覧ください。

統一論題報告 15:00~

中村 元彦 | 千葉商科大学大学院教授

15:00~ 近藤 憲治
財政研究会地方議員連盟顧問 (元・北海道網走市議会議員)
実効性ある公会計なくして、まちづくりなし

31歳で北海道・網走市議会議員に初当選。以後12年間にわたり、財政危機にある自治体の現場で実効性ある公会計の必要性をひしひしと実感してきました。

15:30~ 中野 雄太 | 税理士法人アーニングスターズ
公共政策における成果報告書活用の意義

省庁別財務書類が制度化され、政策コストまで明確になっていながら、その成果を検証する姿勢は皆無である。国民は、自分の支払っている税金の使途やコストを知るすべもない。これでは財務書類を作成した意味はないに等しい。

16:00~ 山本ひろこ | 目黒区議会議員 元監査委員
負債が無くなった後はどこを目指すのか

債務を上回る積立基金がある自治体は、一体どこを目指す行けば良いのか。23区特別区という複雑な制度により、本来の税収が見えない中で、どういう税の使い方が望まれるのか、そのために公会計で何が出来るかを考えます。



基調講演

16:30~17:30

「市民の意思決定のために 公会計」

菅原 敏夫

財団法人地方自治総合研究所 研究員
著書「自治体健全化法の仕組み」(ぎょうせい 2008)



2006年6月、夕張市財政の破綻は、1950年代半ばからの「財政再建」スキームの無効を宣し、新しい制度の必要性を強調することとなった。「決算」「公の会計」の果すべき役割が根本的に問われた。

夕張市財政の破綻のほぼ1ヶ月前、総務省が「新地方公会計制度」の詳細を公表した。総務省の「新地方公会計制度」でも「市民の意思決定のための制度」は用意されておらず、決算制度は強化されておらず、市民の評価を表示する仕組みが脆弱であった。

「貸借対照表」「行政コスト計算書」は何を表示すべきなのか。私たちが問われていると感じてならない。

2日目 Day 2 6 SUN

9:00	受付開始	
9:30	開会挨拶	9:45
9:45	自由論題報告	12:00
9:45	報告①	10:30
10:30	報告②	11:15
11:15	報告③	12:00
12:00	昼食	13:00
13:00	自由論題報告	11:15
13:00	報告④	13:45
13:45	報告⑤	14:30
14:30	統一論題報告	15:00
14:30	松本武洋	15:00
15:15	津久井富雄	15:30
15:30	パネルディスカッション	16:30

自由論題報告 9:45~

石原 俊彦 | 関西学院大学大学院 教授

報告① 9:45~ 遠藤 尚秀 | 大阪公立大学大学院 教授
関下 弘樹 | 福山大学経済学部 准教授
**わが国自治体財務管理の実態調査分析
—英国公共財務管理の諸原則の観点から—**

報告② 10:30~ 吉野 貴雄 | 静岡県富士市監査委員事務局
**監査委員監査に期待される機能・役割に関する考察
—監査実施体制の格差が監査に与える影響—**

報告③ 11:15~ 生方 裕一 | 筑波大学システム情報系
**実施計画の修正意向が次年度予算要求額に与える影響
—自治体職員向け質問紙実験から—**

報告④ 13:00~ 山崎聡一郎 | 日本公認会計士協会 公会計委員会
地方公共団体専門委員長
**地方公共団体の決算書類に対して監査を実施する場合の
財務報告の枠組みの検討と想定される実務的課題**

報告⑤ 13:45~ 中川 直人 | 関西学院大学大学院 研究員
**わが国水道事業における「統合報告」の導入
—「経営戦略策定マニュアル」と
「国際統合報告フレームワーク」の共通性—**

統一論題報告 14:30~

小池 聖一パウロ | 千葉商科大学大学院教授

14:30~ 松本 武洋 | 前和光市長 安田女子大学教授
足による投票のために必要な財政データとは

著書「自治体連続破綻の時代」洋泉社、2006

公会計の議論の前段として、自治体による財政データの提供の現状について、埼玉県和光市における実践を踏まえて検討する。

15:15~ 津久井 富雄 | 前 大田原市長
意思決定に役立つ「市長の貸借対照表」

2010年から2022年の市長在任中、「大田原市長の貸借対照表」と「大田原市民の貸借対照表」を作成する他、「成果報告書」の作成をおこなう。成果を重視する会計情報を作成することで、市民の目線で財政運営を可能にすることを果たしたい。

パネルディスカッション

15:30~16:30

市民の意思決定のために公会計が果すべき役割を、林正義先生にも加わっていただき、あるべき公会計の姿を明らかにします。

菅原 敏夫
財団法人地方自治総合研究所 研究員



林 正義

日本財政学会代表理事
東京大学大学院経済学研究科教授

「財政民主主義」という言葉で表されるように、財政学における中心的な関心事のひとつは、国民・住民による公的予算のコントロールでした。これをもって「予算論なき財政学などは存在しない」とも言われますが、残念なことに、近年の財政学では予算論は以前ほど盛り上がりを見せていません。今回は、公会計研究に携わる方々からの知見を通じて、予算論の現状を打破する新たな知的刺激を得たいと思っています。



松本 武洋 津久井 富雄 近藤 憲治 山本 ひろこ 中野 雄太
パネラー

大会期間中のタイムスケジュールは、当日の進行状況、その他の事情で変更する場合があります